

# — ISO/156 JWG2小委員会の活動 —

## 1. 趣旨

本小委員会は2009年、ステンレス協会から委託されて設立された。TC156は金属および合金の腐食試験法に関する国際規格作成を行う対策専門委員会で、現在WG1～WG14の14のWGがある。WG2は「金属および合金の環境助長割れ (Environmental Induced Cracking) の試験法」(応力腐食割れ、水素助長割れおよび水素脆化、疲労破壊、脱亜鉛等の試験法)の規格、指針、手引き書等の提案、審議、作成および5年毎の見直しを行っている。日本におけるこの専門委員会がJWG2である。

## 2. 構成メンバー

根本力男(委員長、腐食センター)

西村六郎(大阪府大)、武藤泉(東北大)、坪田基司(東芝)、明石正恒(IHI)、中山元(IHI)、児島洋一(古川スカイ)、村上弘良(日本原子力発電)

### 3. 活動内容の紹介

#### (1) メンテナンス作業

既に制定されている15個の国際規格の見直し作業(1~2件/年)。

#### (2) 現在審議中および審議予定規格案

なお、銅合金は日本伸銅協会とMg合金は日本マグネシウム協会の協力のもとで審議を行っている。

##### 1) FDIS 投票中

ISO/FDIS 6509-1: Determination of dezincification resistance of copper alloys with zinc-part 1: Test method

##### 2) DIS 投票中

Methodology for determination the resistance of metals and alloys stress corrosion cracking using the four-point bend method

##### 3) CD 作成中(スウェーデン)

ISO/CD 6509-2: Determination of dezincification resistance of copper alloys with zinc-part 2 Acceptance criteria

##### 4) WD作成中(ドイツ)

Stress corrosion testing of magnesium alloys